

第15回 The 15th Japanese Society for Long Hemodialysis Therapy

長時間透析研究会

患者の状態にあった長時間透析とは何か

プログラム・抄録集

会期 2019年
10/12日・13日

会場 つくば国際会議場

大会長 小林 弘明
(茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 透析センター長)

The 15th Japanese Society for Long Hemodialysis Therapy

第15回 長時間透析研究会

患者の状態にあった長時間透析とは何か

プログラム・抄録集

大会長

小林 弘明

(茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 透析センター長)

会期

2019年10月12日(土)／13日(日)

時間

10月12日(土) 14:15～ (参加受付開始 13:00～)

10月13日(日) 9:00～ (参加受付開始 8:20～)

会場

つくば国際会議場

(〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3)

大会長挨拶

第2回の当会より参加させて頂き、第15回長時間透析研究会を開催させて頂きます。

長時間透析を行うことにより、透析患者の約半数を占める心不全死と感染症死を防げることは実証され、とくに現役世代では深夜オーバーナイト透析や在宅血液透析の普及によりADLの低下なく、仕事も失うことなく、たとえ糖尿病性腎症であっても余命が著しくよくなることが分かりました。

しかしながら、近年の透析患者における問題点は、非透析者に比し明らかに運動量も少ないため、サルコペニア・フレイルといった筋萎縮・筋力低下によるADL低下、ひいては精神活動の低下を背景にした歩行困難透析患者、要介護透析患者の増加である。現在、透析患者年齢バランスは1/3が現役世代、1/3が65歳～74歳の団塊の世代、1/3が75歳以上の後期高齢者と占めている、つまり透析患者の2/3を占める65歳の患者がサルコペニア、フレイルに陥る可能性が高い。長時間透析は高齢者での長期予後が改善する可能性は高いが、サルコペニア、フレイルを長時間透析による十分な蛋白摂取と十分な除去のみで予防することは難しいと考えられます。日勤帯の長時間透析であれば、標準時間透析よりも長い時間の臥床を強いられることは間違いないですが、標準時間透析患者の多くが透析日には透析後にすぐには動けず自宅での仮眠を余儀なくされるので長時間透析の臥床時間と変わらないという意見もあるかもしれないが、非透析者と比べれば臥床時間が延長していることには変わりありません。また、患者送迎によるdoor to doorの生活も下肢筋力低下の助長要因であることも間違いないと思います。高齢者は個別には著しい差異があり、一概には言えないかもしれませんが、長時間透析を行うことにより、より長くより悪い非健康寿命を増やしてしまうことは真に良いことか否か検討してもいい時期にきていると考える。

2018年カルニチン研究会の参加者アンケートでは透析中または透析前後で何らかの運動療法を取り入れている施設は22%程度であり、昨年と変わりがない。行おうとしても運動療法の場所の確保・適切な指導人員・運動療法の内容・送迎のタイミングとの兼ね合い・患者の都合等々で躊躇する施設・実際にはできない施設が多いのであろう。

今回の長時間透析研究会では65歳以上高齢者にスポットをあて、長時間透析の必要性、長時間透析の効果、サルコペニア、フレイルの予防に役立つのか否か、行っているならば運動療法の工夫、食事療法の工夫について検討したと考えます。

かわりまして、2018年9月厚生労働省通達の『医療品医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインについて』が2019年4月より厳しく実施されるようになり、医師主導での研究会での協賛、寄付などが大変に厳しくなっており、本会も紆余曲折があり何とか開催に漕ぎつけております。この場を借りて関係各部署には、深謝御礼申し上げます。

第15回 長時間透析研究会 大会長

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 透析センター長

小林 弘明

大会顧問挨拶

我が国の腎代替療法では、年間新規透析導入患者4万人に対し、新規腎移植レシピエントは1800人程度と未だ大半の患者に透析療法が選択されております。透析患者については2017年の日本透析医学会の調査では、血液透析を95%の患者が選択し、腹膜透析は5%程度に過ぎません。血液透析につきましては、通常、週3回の治療において、透析膜、透析液、血流量などの各透析条件等の工夫に加え、online HDFなどのさまざまなmodalityが工夫され、十分な尿毒症物質の除去を着実に実施する方法が検討、研究されてきました。またCAPDは、24時間の連続治療としての利点は明確であるものの、残存腎機能に依存した体液バランスの維持が必須であり、長期的な継続は困難な症例が大半です。そうした中で、健常な腎臓では、24時間連続して機能し、十分な老廃物の排泄と同時に体液の質的量的恒常性を維持しております。

本会の主テーマである長時間透析は、腎代替療法における、透析量、体液恒常性における利点を生かし、且つ患者のQOL改善をめざす、実臨床の現場での利便性、有用性を創意しようとする医師、臨床工学士、看護師、スタッフなどのさまざまな職種の有志連合による科学的推論の場です。

第15回を迎えます今回は、『患者の状態にあった長時間透析とは何か』というテーマで、茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター透析センター長 小林弘明 大会長とスタッフの工夫により会が企画されています。

多くのみなさんの参集をお願いし、集学的なアプローチにより、長時間透析の理論的・技術的な本質を明らかにし、より実用的な臨床応用のアイデアが集まり、多くの患者さんの福音となることを 大会顧問として希望しております。

第15回長時間透析研究会 大会顧問

筑波大学 医学医療系 臨床医学域 腎臓内科学 **山縣 邦弘**

大会顧問挨拶

当クリニックの目標は「元気で長生きできる透析」です。私は長年透析治療に携わっており、online HDFや高ナトリウム透析も行っております。それ以外にアフェレシス療法として血漿交換療法、血漿吸着療法、血液吸着療法や二重濾過血漿分離交換法なども経験しております。更にこれまで1998年12月から在宅透析に20年以上にわたり携わって参りました。また現在当院で一番長く透析を施行しておられるのは女性のM. O. さんであり、1973年7月から46年間に亘、私と共に透析での生活を過ごして、現在に至っております。

透析治療については透析膜素材の開発や透析・濾過等の組み合わせにより私の学位論文のテーマである uremic toxin(単離肝細胞を用いたGSAの生合成について)の除去や体液バランスの調節に飛躍的な進歩がみられます。しかしながら長時間透析は透析担当者が良く分かっている非常に重要なテーマであるにも拘らず、なかなか進まないのも現実であると思います。

抑々、私達透析に携わっている医療者(医師、看護師、臨床工学技士、管理栄養士、MSW等)は診療報酬の改定に後押しされながらも、充分多くの透析患者さんに対し透析時間を延ばすことの大切さを教育してきたのでしょうか。事あるごとにもっと時間をかけて透析の機器やソフト面での開発と同じように力を注ぐべきであると考えます。

私達の周囲の透析患者さんを見ると出来るだけ透析時間を短くしてくださいという話はよく耳にします。しかしながら、出来るだけ長くしてくださいという話を耳にすることは滅多にありません。確かに透析している時間が短い方が自分の時間が持てそのことでは有益かもしれません。しかし、透析をしながらも元気で長生きするという現在の健康寿命のことを考えてみると自分の仕事が十分に出来たり、より健康に過ごしたりすることが可能となります。それが分かっているのに実際に出来ていないということは私達の患者さんに対する説明の不足であると考えます。

患者さんが透析時に足が攣ったり、頭痛がしたり、急な除水による血圧低下がみられた時に薬物療法などを安易に選択せずに長時間透析を押し進めてゆくべきであると思います。それはよくわかっているにも拘らず丁寧な説得や説明に時間が係ることを理由にして指示を怠ってきたと言わざるを得ません。

厚生労働省は2018年長時間透析を評価し、5時間以上を含む3つの透析時間区分による人工腎臓技術料を設定しました。更に6時間以上は通常の人工腎臓では管理困難な患者さんに対する加算が認められました。

長時間透析とは18時間/週以上行う透析療法を総称し、およそ3つのパターンに分類されます。

- 1:透析回数週3回、1回の透析時間6時間以上
- 2:透析回数週4回、1回の透析時間4.5時間以上
- 3:透析時間週5回、1回の透析時間3.5時間以上の3つの方法があります。

長時間透析の良い点は

1. 単位時間当りの除水量が減るので透析中の血圧の低下や透析後の疲労感がなくなる
2. 透析時間が長くなるので標準的な方法よりも毒素や水分を十分に除去することが出来、リンやカリウムの吸着剤、降圧剤やエリスロポエチンの使用量が減ります。
3. 合併症が減り、患者のQOLが向上します。

初めに述べたようにこのような素晴らしい長時間透析なのになぜ深く広まらないのでしょうか。という点に関しては「4時間透析でも苦しいのに、これ以上透析時間を延ばすことは到底無理だ」と考える人が多いからです。

当院では保存期腎不全の患者さん及び透析患者さんにおいても腎臓リハビリテーションを実施しております。それはフレイルやサルコペニアの予防でもあります。腎臓の患者さんが生きている限りは「元気で長生き」して頂きたいという思いからです。私は繰り返して言いますが、十分に分かっていることが出来ていないということを実感してはなりません。そしてスタッフ全員が長時間透析の重要性を認識し、私達の目標に向かい実践あるのみだと思います。私達、透析に携わる医療者がこれからも安易な方向に流れることなく患者さん一人一人に丁寧に長時間透析の優れた点を説明して行くことが必要であると思います。

第15回 長時間透析研究会 大会顧問

医療法人 青藍会 大場内科クリニック 理事長 **大場 正二**

大会顧問挨拶

当院(茨城県立中央病院)透析センター長の小林弘明先生が第15回長時間透析研究会の大会長を務められることを病院としても誇りと思っております。

当院では平成20年12月に透析センターを開設しました。小林先生は、翌平成21年4月に当院に招請され、センター長に就任されております。平成27年6月には、透析センターは20床から34床に増床され、今日に至っております。透析件数は、平成24年度から30年度まで、8,962, 9,363, 9,852, 10,346, 13,203, 14,309, 13,760と増加を続けてきました。今後は増床や職員増がないと増やすことは難しくなっているようです。そのうち、深夜透析件数は、2,637, 2,779, 2,783, 3,414, 4,520, 4,032, 4,084となっております。また、在宅透析も0名、1名、5名、9名、13名、15名、18名となっております。透析センターの症例数は中期計画での目標症例数を確実に達成してきております。

透析を必要とする患者さんに貢献するとともに、病院経営上でも原価計算において、他の領域を大きく凌ぐ黒字経営となっており、今後も安定して継続していただける体制がとれております。

かつて透析医療は、高額なために、現在の分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬のように、保険医療を崩壊させるのではと危惧された時代もあったと記憶していますが、現在、通常の診療として、多くの人々の健康に貢献し、その社会活動を支えているのはうれしい限りです。今回の本研究会における議論によって長時間透析の改良や普及が進み、患者さんのQOLを改善し、社会の一員としての活躍を応援できることを期待しております。

第15回長時間透析研究会 大会顧問

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 病院長 **吉川 裕之**

目次 CONTENTS

大会長挨拶	3
大会顧問挨拶	4
名簿	8
参加者へのご案内	9
座長・ご発表者へのご案内	11
第16回長時間透析研究会のお知らせ	13
交通案内図	14
会場案内図	15
日程表	16
プログラム	18
抄録集	25
会則	63
協賛	66

長時間透析研究会幹事名簿（50音順）

会 長	前田 利朗	〔(医)幸善会 前田病院〕
幹 事	東 昌広	〔(医)あずま腎クリニック〕
幹 事	小林 弘明	〔茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター〕
幹 事	坂井 瑠実	〔(医)本山坂井瑠実クリニック〕
幹 事	下門 清志	〔(医社)藍蒼会 しもかどクリニック〕
幹 事	陣内 彦博	〔(医)瑛会 東京ネクスト内科・透析クリニック〕
幹 事	菅沼 信也	〔(医)菅沼会 腎内科クリニック世田谷〕
幹 事	鈴木 一裕	〔(医)援腎会 すずきクリニック〕
幹 事	谷口 正智	〔(医)医心会 福岡腎臓内科クリニック〕
幹 事	千葉 尚市	〔(医)腎友会 岩見沢クリニック〕
幹 事	前田 兼徳	〔(医)兼愛会 前田医院〕
幹 事	前田 憲志	〔(医)有心会 大幸砂田橋クリニック〕
幹 事	松尾 賢三	〔(医)ひがしだクリニック〕
幹 事	山川 智之	〔(特医)仁真会 白鷺病院〕
監 事	天野 泉	〔名古屋バスキュラーアクセス天野記念診療所〕
名誉会長	金田 浩	〔(医)かもめクリニック かもめ・みなとみらいクリニック〕

長時間透析研究会当番幹事一覧

2005年12月10日(土)	第1回長時間透析研究会	金田 浩	〔(医)かもめクリニック〕
2006年12月 9日(土)	第2回長時間透析研究会	千葉 栄市	〔(医)腎友会 岩見沢クリニック〕
2007年11月10日(土)	第3回長時間透析研究会	前田 利朗	〔(医)幸善会 前田病院〕
2008年11月30日(日)	第4回長時間透析研究会	坂井 瑠実	〔(医)本山坂井瑠実クリニック〕
2009年11月 8日(日)	第5回長時間透析研究会	金田 浩	〔(医)かもめクリニック〕
2010年12月 5日(日)	第6回長時間透析研究会	中本 雅彦	〔済生会八幡総合病院〕
2011年12月11日(日)	第7回長時間透析研究会	天野 泉	〔名古屋バスキュラーアクセス天野記念診療所〕
2012年11月 4日(日)	第8回長時間透析研究会	有阪 弘明	〔茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター〕
2013年11月10日(日)	第9回長時間透析研究会	前田 兼徳	〔(医)兼愛会 前田医院〕
2014年11月16日(日)	第10回長時間透析研究会	千葉 尚市	〔(医)腎友会 岩見沢クリニック〕
2015年11月22日(日)	第11回長時間透析研究会	菅沼 信也	〔(医)菅沼会 腎内科クリニック世田谷〕
2016年11月 5日(土)・6日(日)	第12回長時間透析研究会	松尾 賢三	〔(医)ひがしだクリニック〕
2017年11月25日(土)・26日(日)	第13回長時間透析研究会	陣内 彦博	〔(医)瑛会 東京ネクスト内科・透析クリニック〕
2018年11月24日(土)・25日(日)	第14回長時間透析研究会	前田 利朗	〔(医)幸善会 前田病院〕

参加者へのご案内

参加受付

1. 受付場所・受付時間

10月12日（土）

- 場 所：つくば国際会議場 2階 大ホールロビー
- 受付時間：13:00～19:20

10月13日（日）

- 場 所：つくば国際会議場 2階 大ホールロビー
- 受付時間：8:20～16:00

2. 参加費

- 医師・企業 10,000円（プログラム・抄録集代込み）
- コメディカル 3,000円（プログラム・抄録集代込み）
- 学生・患者様・ご家族 無料

- ・プログラム・抄録集は、参加受付にて一部1,000円で販売いたします。部数に限りがございますので、売り切れの際はご容赦ください。
- ・受付の際には、記名台にございます参加申込書のご記入をお願いいたします。
- ・参加受付の際にお渡しするネームカードに所属・氏名をご記入のうえ、会期中、会場では必ずご着用ください。ネームカードの再発行はいたしませんのでご注意ください。（クレジットカードの取扱いはございませんので、現金のみでのお支払いとなります。）

3. 長時間透析研究会参加による単位修得について

- 日本透析医学会会員の医師が参加されますと、専門医制度で定められた3単位が付与されます。
※参加受付横の単位受付にて、参加証発行先名簿に氏名・生年月日・所属施設名をご記入後、参加証をお渡しします。
- 日本腎不全看護学会会員の看護師が参加されますと、慢性腎臓病療養指導看護師の資格ポイントは6ポイントとなります。
- 日本臨床工学技士会の臨床工学技士が参加されますと、専門臨床工学技士認定制度により3単位が付与されます。
- 透析技術認定士が参加されますと、透析技術認定士の更新ポイント5点が付与されます。

※上記参加単位の詳細は、長時間透析研究会 Web サイト (<http://longhd.jp/>) にてご確認ください。

懇親会

1. 開催場所・開催時間

- 場 所：1階 レストラン エスパワール
- 開催時間：10月12日（土） 19:30～21:00

2. 会費

5,000円

- 参加受付：2階 大ホールロビー
 - お支払いは研究会の参加受付時にあわせてお願いいたします。
- ※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。（定員50名）

3. その他

- 懇親会へのご参加には事前登録が必要となります。詳細は本研究会ホームページをご確認ください。
- 当日、ご参加を希望の場合は、参加受付時にお申し出ください。
- 懇親会は会場規模により参加者数に限りがございますので、研究会へご参加いただく方のみとさせていただきます。懇親会のみのご参加は、ご遠慮ください。
(クレジットカードの取扱いはございませんので、現金のみでのお支払いとなります。)

会場内でのお願い

- 1) 発言される際はマイクを使用し、最初に所属と氏名を明らかにしてください。
- 2) 会場内での呼び出しはお断りいたします。
- 3) 会場内は全面禁煙です。
- 4) 携帯電話のご使用は、ロビーにてお願いいたします。
会場内ではマナーモードの設定をお願いいたします。

総会

2階「大ホール」にて13日(日)13:20～13:40に開催いたします。

共催セミナー

2階「大ホール」にて下記のとおり共催セミナーを開催いたします。

事前登録はございませんので、直接会場へお越しください。なお、医療従事者を対象としております。患者様、ご家族様の参加はご遠慮ください。

また、イブニング・ランチョンセミナーは会場前にて飲食の配布(提供)を行います。提供数には限りがございますので予めご了承ください。

※飲食の配布は参加証をお持ちの方で、お一人様につき1つとさせていただきます。

- イブニングセミナー : 10月12日(土) 17:25～18:25〈軽食〉
- ランチョンセミナー(サテライトシンポジウム) : 10月13日(日) 12:10～13:10〈お弁当〉
- アフタヌーンセミナー(サテライトシンポジウム) : 10月13日(日) 13:50～14:50

県民公開講座

2階「大ホール」にて下記の通り県民公開講座を行います。事前登録はございませんので、直接会場へお越しください。

- 県民公開講座 : 10月13日(日) 10:10～10:50

企業展示

2階「大ホール」にて下記の通り企業展示を行います。なお、展示は医療従事者のみを対象としたエリアとなっております。

- 展示時間 : 10月12日(土) 14:30～19:20 / 10月13日(日) 9:00～16:00

クローク

10月12日(土)

- 場 所 : 1階 クローク
- オープン時間 : 13:00～19:30

※懇親会にご参加の方は、お荷物をもって1階までご移動をお願いいたします。懇親会会場内に荷物置場をご用意しております。

10月13日(日)

- 場 所 : 1階 クローク
- オープン時間 : 8:20～16:00

※時間厳守にてお願いいたします。

※貴重品(現金・PC・かさ等)はお預かりいたしかねます。

座長・ご発表の方へのご案内

座長の先生へ

1. 受付等

- ・本研究会では指定演題、一般演題（口頭発表）は座長制による進行となります。
- ・座長の先生方は、担当セッションの始まる 15 分前までに所定の場所（次座長席）で待機してください。

2. 発表時間

- ・お時間になりましたら、会場係の指示に従いセッションを開始していただきますようお願いいたします。
- ・指定演題の発表方法と時間は座長の先生方へ一任いたします。ただし時間内に終了するようにご協力をお願いいたします。
- ・一般演題（口頭発表）は 1 演題あたり発表 7 分、質疑 3 分、計 10 分です。
- ・発表終了 1 分前に黄ランプで合図し、発表の終了時間は赤ランプで合図いたします。
- ・時間厳守で時間内に終了するようにご協力をお願いいたします。

ご発表の皆様へ

1. 口演発表

- 1) 講演会場での口演は全て PC 発表となります。
- 2) 各演題の発表時間は下記一覧をご参照ください。

演題種別		発表時間	質疑時間	総合討論	実技時間
特別講演		10分	—	10分	—
シンポジウム	医師	15分	—	15分	—
	技士・看護師	10分			
運動療法実技		—	—	—	50分
一般口演		7分	3分	—	—
イブニングセミナー		60分（質疑応答含む）		—	—
ランチョンセミナー（サテライトシンポジウム）					
アフタヌーンセミナー（サテライトシンポジウム）					

- ・発表演台に設置しているタイマーにより、発表時間終了 1 分前に黄色ランプ、発表時間終了時に赤ランプにてお知らせいたします。
- ・演者の方は、セッション開始 15 分前までに会場内左手前方の次演者席にご着席ください。

3) PC 受付

- 場 所：2 階 大ホールロビー
 - 受付時間：10 月 12 日（土）13:00 ～ 19:20 | 10 月 13 日（日）8:20 ～ 14:20
- ※ご発表セッションの開始 60 分前までにデータおよび試写をお済ませください。

4) データ作成および会場での取り扱いについて

会場には、Windows10、Microsoft PowerPoint 2007/2010/2013/2016/2017、解像度 XGA（1,024 × 768）の PC を準備いたします。発表データは下記の方法にてお持ちください。

持込方法	Windows	Macintosh
メディア持込	○	△※
PC 本体持込	○	○
データ形式	Microsoft PowerPoint 2007/2010/2013/2016/2017	—
動画ソフト	Windows Media Player	

※口演会場では Windows PC を使用しての表示となります。フォントや文字ズレ、動作不具合の可能性がございますので、Macintosh をご使用の方は、PC 本体もお持ちください。

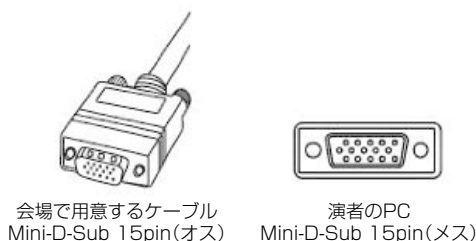
5) メディア持込の場合の注意点

- ・ 受付可能なメディアはCD-R、DVD-R (CD-RW、DVD-RW 不可) もしくは USB メモリでお願いいたします。
- ・ MO、ZIP、メモリーカード等は使用できません。
- ・ CD-R、DVD-R への書き込みの際は、ファイナライズ (セッションのクローズ・使用したセッションを閉じる) 作業を必ず行ってください。この作業が行われなかった場合は、データを作成した PC 以外ではデータを開くことができなくなることがあります。予め、CD-R、DVD-R を作成した PC 以外でもデータを開くことができることをご確認ください。
- ・ OS 標準フォントをご使用ください。(MS ゴシック、MS 明朝、Arial、Times New Roman、Century 等)
- ・ 動画は、Windows Media Player で再生可能なものに限定いたします。特殊な動画コーデックをご使用にならないようご注意ください。バックアップおよびトラブル対策のため、PC 本体もお持ちください。
- ・ プレゼンテーションに他のデータ (静止画・動画・グラフ等) をリンクさせている場合は、必ず他のデータも一緒に保存し、作成した PC とは別の PC にて事前動作確認をお願いいたします。
- ・ メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新ウイルス駆除ソフトでチェックしてください。お預かりいたしましたデータは、学会終了後、責任を持って消去いたします。

6) PC 本体持込の場合の注意点

- ・ 万が一に備え、バックアップ用として、各種メディア (CD-R、DVD-R、USB メモリ) にデータ保存し、ご持参ください。
- ・ Macintosh (PC 及びタブレット) をご使用の場合は、PC 本体並びに付属の VGA アダプターをお持ちください。
- ・ プロジェクターのモニター端子は、ミニ D-sub15 ピン (通常のモニター端子) です。変換コネクタが必要な場合は、ご自身でお持ちください。HDMI や Mini DisplayPort などミニ D-sub15 ピン以外の接続はお受けできません。

ディスプレイ接続コネクタ



- ・ スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードは予め解除してください。Macintosh の場合は、ホットコーナーも解除をお願いいたします。
- ・ PC 受付にて動作確認後、ご自身で会場内左側前方オペレーター席まで PC をお持ちください。発表終了後、オペレーター席にてご返却いたします。
- ・ PowerPoint 付属機能の「発表者ツール」は使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。

6) その他

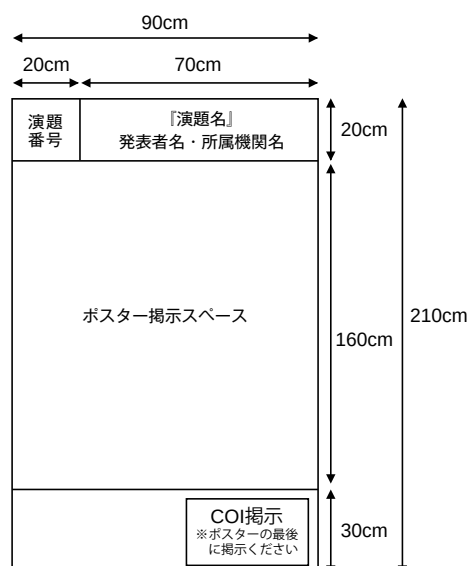
発表データのファイル名は「演題番号_筆頭演者名」としてください。

2. ポスター発表

- ・ 本文の字の大きさは遠くからも見やすいサイズで、また図、表、写真は鮮明なものをご用意ください。
- ・ 使用パネルは、1 演題につき 90cm (横) × 210cm (高さ) のパネルを用意します。
- ・ 演者は、演題番号の右のスペースに、演題名、所属名、演者名を明示してください。
- ・ ポスター貼付および撤去は、以下の要領で行ってください。

- ・撤去時間を過ぎても残っているポスターにつきましては、事務局にて撤去、処分いたしますのでご了承ください。
- ・ポスターの発表ならびに質疑応答は座長の指示に従い、発表時間を厳守してください。
- ・発表時間は、発表 6 分、質疑応答 2 分です。
- ・開催場所 つくば国際会議場 2 階大ホールロビー

	10月12日（土）	10月13日（日）
貼付時間	14:30～19:30	8:20～9:30
掲示時間	-	9:30～15:00
発表時間	-	10:30～11:10
撤去時間	-	15:00～16:00



4. 利益相反(COI)に関して

【利益相反自己申告に関するスライド例】

申告すべきCOI状態がない場合

**第15回長時間透析研究会
COI開示**

筆頭発表者名： ○○ ○○

**演題発表内容に関連し、
開示すべきCOI関係にある企業等はありません。**

申告すべきCOI状態がある場合

**第15回長時間透析研究会
COI開示**

筆頭発表者名： ○○ ○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

- ①顧問：なし
- ②株保有・利益：なし
- ③特許使用料：なし
- ④講演料：なし
- ⑤原稿料：なし
- ⑥受託研究・共同研究費：○○製薬
- ⑦奨学寄付金：○○製薬
- ⑧寄付講座所属：あり(○○製薬)
- ⑨贈答品などの報酬：なし

当日の発表時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。

口演の場合、発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。

第16回長時間透析研究会のお知らせ

第 16 回長時間透析研究会

会 告

日 程：2020年11月14日（土）・15日（日）

会 場：幕張メッセ

（〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 TEL:043-296-0001）

大 会 長：東 昌広（(医)あずま腎クリニック）

交通案内図

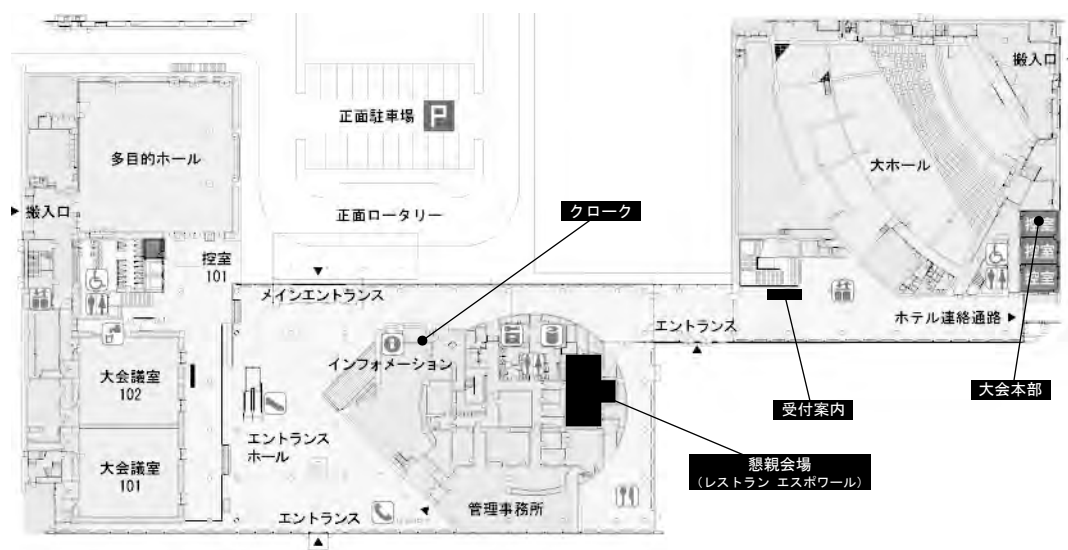


秋葉原駅 品川駅 東京駅 上野駅 東京駅 品川駅	常磐線(特急)約60分(2320円) 常磐線(特急)約50分(2140円) 常磐線(特急)約45分(2140円) 常磐線(特別快速)約50分(970円) 常磐線(特別快速)約55分(1140円) 常磐線(特別快速)約65分(1140円)	快速 45分 (1190円) つくば駅 徒歩 10分	エスカレーターで ペDESTリアンデッキ (歩行者専用道路) に乗り直進 つくば国際会議場 徒歩 8分
成田空港 東京駅 羽田空港 成田空港	バス約25分 (530円) バス約35分 (520円)	つくば駅 つくばセンター	エスカレーターで ペDESTリアンデッキ (歩行者専用道路) に乗り直進 つくば国際会議場

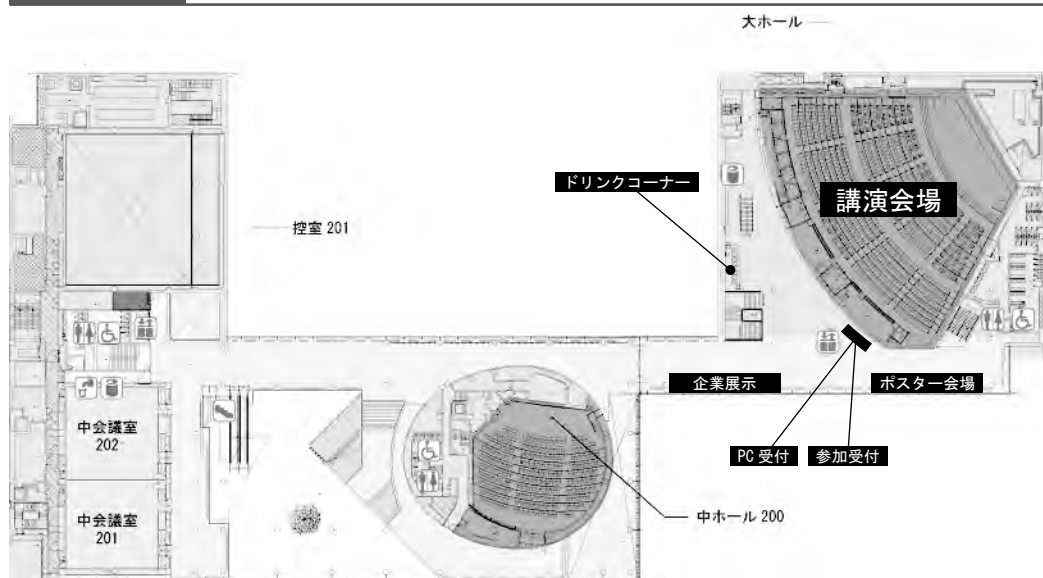
2017年6月現在

会場案内図

1 階



2 階



4 階



第15回長時間透析研究会 日程表 10月12日(土)

	2階 大ホール	2階 大ホールロビー	1階 クローク
8:00			
9:00			
10:00			
11:00			
12:00			
13:00	13:00~14:00 幹事会 4階 407		
14:00			
	14:15~14:20 開会挨拶		
15:00	14:20~15:40 一般口演① 座長:小北 克也・今田 真里 O1-1~O1-8		
	休憩(5分)		
16:00	15:45~16:25 技士シンポジウム 座長:西澤 喬光・前澤 利光	13:00~19:20 受付	
	休憩(5分)		
17:00	16:30~17:10 看護師シンポジウム 座長:大平 佳容子・森島 早智子		
	休憩・準備(15分)		
18:00	17:25~18:25 イブニングセミナー 「透析運動療法:貧血と骨とQOLへの効果」 座長:山縣 邦弘 演者:安藤 康宏 共催:中外製薬株式会社		
	休憩(5分)		
19:00	18:30~19:20 「透析患者の運動」 実技:Hiromi		
20:00	19:30~21:00 懇親会 1階 エスポワール		
21:00			

第15回長時間透析研究会 日程表 10月13日(日)

	2階 大ホール	2階 大ホールロビー		1階 クローク	
8:00		受付	企業展示		
9:00	9:00～10:10 一般口演② 座長:松尾 賢三・谷口 正智 O2-1～O2-7			8:30～9:30 ポスター貼付	クローク 8:20～16:00
10:00	10:10～10:50 県民公開講座 「患者体験談」 座長:吉川 裕之			9:30～10:30 ポスター掲示	
	休憩(5分)			10:30～11:10 ポスター発表 座長:入谷 麻祐子 P1～P5	
11:00	10:55～11:55 医師シンポジウム 座長:千葉 尚市・小林 弘明			11:35～15:00 ポスター掲示	
12:00	休憩(15分)				
	12:10～13:10 ランチョンセミナー(サテライトシンポジウム) 「長時間透析とCKD-MBD」 座長:大場 正二 演者:齋藤 修 共催:協和キリン株式会社・株式会社カネカメディックス 扶桑薬品工業株式会社				
13:00	休憩(10分)				
	13:20～13:40 総会				
	休憩(10分)				
14:00	13:50～14:50 アフタヌーンセミナー(サテライトシンポジウム) 「長時間透析と運動管理」 座長:小林 弘明 演者:松沢 良太 共催:キッセイ薬品工業株式会社	8:20～16:00	9:00～16:00		
15:00	14:50～15:50 一般口演③ 座長:新井 京音・渡部 卓也 O3-1～O3-6		15:00～16:00 ポスター撤去		
16:00	15:50～16:00 閉会挨拶				
17:00					
18:00					
19:00					
20:00					
21:00					

第15回長時間透析研究会 プログラム 10月12日(土)

2階 大ホール

14:15 開会挨拶

14:20 一般口演1【O1-1~8】

座長：小北 克也（特定医療法人仁真会 白鷺病院 臨床工学技士）

今田 真里（医療法人社団腎愛会 前田医院 看護師）

O1-1 長時間透析普及啓発に向けたアプローチのスタンディングポイント～第2報 「行動変容」の視点による分析～

所属：医療法人社団腎愛会 だてクリニック（北海道）

演者：三浦 かおる（シフトナール、看護師）、仁平 智子、伊達 敏行

O1-2 深夜透析（以下ON）時の災害対策、アクションカード作成の試み

所属：医療法人野尻会 熊本泌尿器科病院（熊本県） 臨床工学科¹⁾ 腎臓内科²⁾

演者：下條 隆史（シフトナール、臨床工学技士）¹⁾、中村 辰也、中村 祐輔、木本 淳也、宮本 真由美、高森 浩、野上 千佐、野尻 明弘

O1-3 長時間透析の継続に向けて我々にできること

所属：医療法人社団腎愛会 だてクリニック（北海道）

演者：嶋田 昌幸（シフトナール、臨床工学技士）、長谷川 寛政、南 嘉継、伊達 敏行

O1-4 夜間・長時間透析患者の仕事と治療の両立に向けた支援への取り組み

所属：医療法人社団 にれの杜クリニック（北海道）

演者：建嶋 優紀（ケア・エス、医療ソーシャルワーカー（MSW））、有倉 潤、土橋 誠一郎、伊藤 洋輔、玉置 透

O1-5 Caのマスパランスから長時間透析に最も適した透析液Ca濃度を検討する

所属：医療法人社団腎愛会 だてクリニック（北海道）

演者：長谷川 寛政（シフトナール、臨床工学技士）、南 嘉継、伊達 敏行

O1-6 就労透析患者にとってのオーバーナイト透析の有意性

所属：医療法人社団 にれの杜クリニック（北海道） 看護部¹⁾ 外科²⁾

演者：中井 亜梨沙（カイアール、看護師）¹⁾、公平 あかね¹⁾、鈴木 沙織¹⁾、後藤 珠子¹⁾、宮腰 麻矢¹⁾、玉置 透²⁾

O1-7 長時間透析の急激な導入・普及から見えてきた新たな課題への取り組み

所属：医療法人社団腎愛会 だてクリニック（北海道）²⁾ 臨床工学技士¹⁾

演者：南 嘉継（シフトナール、臨床工学技士）¹⁾、嶋田 昌幸¹⁾、長谷川 寛政¹⁾、伊達 敏行²⁾

O1-8 高齢・低栄養維持透析患者における栄養状態の改善に長時間透析は貢献するか？

所属：医療法人社団腎愛会 だてクリニック（北海道）²⁾ 栄養科¹⁾

演者：村椿 千晶（ムツバキ・ケア、栄養科）¹⁾、大里 寿江¹⁾、伊達 敏行²⁾

15:45 技士シンポジウム【CE-1~3】

座長：西澤 喬光（医療法人社団菅沼会 腎内科クリニック世田谷 臨床工学技士）

前澤 利光（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 臨床工学技士）

CE-1 オーバーナイト透析日における洗浄・消毒タイミングによる透析液の水質

所属：医療法人社団瑛会 東京ネクスト内科・透析クリニック（東京都）

演者：太田 智（オクタール、臨床工学技士）

CE-2 当院エコ透析システムの日常管理 一透析液製造から洗浄消毒・排水処理まで一

所属：医療法人 ひがしだクリニック（福岡県）

演者：斎藤道明（サイト・ケア、臨床工学技士）

CE-3 長時間透析の洗浄タイミングや洗浄方法、排水を含める水の管理

所属：医療法人医心会 福岡腎臓内科クリニック（福岡県）

演者：芝田 慶太郎（シバタ・ケイタロウ、臨床工学技士）、谷口 正智、荒谷 周作、清水 正剛、永元 雄基、松雪 実奈、平方 秀樹

2階 大ホール

16:30 看護師シンポジウム【01-1～8】

座長：大平 佳容子（医療法人 かもめクリニック 看護師）
森島 早智子（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 看護師）

N's-1 長時間透析における看護の特殊性・看護の取り組み

所属：医療法人社団菅沼会 腎内科クリニック世田谷（東京都）
演者：小山 千代美（コヤマ チヨミ、看護師）、菅沼 信也

N's-2 長時間透析は看護業務にゆとりが持てる

所属：医療法人援腎会 すずきクリニック（福島県）
演者：橘 健一（タチバナ ケンイチ、看護師）、鈴木 翔太、鈴木 一裕

N's-3 長時間透析～後悔などあろうはずがありません～

所属：医療法人社団兼愛会 前田医院（長崎県）
演者：今田 真里（イマダ マリ、看護師）

17:25 イブニングセミナー

座長：山縣 邦弘（筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学教授）

演題：透析運動療法：貧血と骨とQOLへの効果

所属：国際医療福祉大学病院予防医学センター副センター長
演者：安藤 康宏

18:30 運動療法実技

演題：透析患者の運動

実技：Hiromi（鈴木 裕美、メディカルヨガインストラクター）

1階 エスポワール

19:30 懇親会

第15回長時間透析研究会 プログラム 10月13日(日)

2階 大ホール

9:00 一般口演2【O2-1～7】

座長：松尾 賢三（医療法人 ひがしだクリニック 医師）

谷口 正智（医療法人医心会 福岡腎臓内科クリニック 医師）

O2-1 維持透析患者におけるアミノ酸分析

所属：茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター（茨城県）¹⁾

筑波大学 腎臓内科²⁾

演者：堀越 亮子（ホリコシ リョウコ、医師）¹⁾、秋山 陵介¹⁾、松永 宇広^{1) 2)}、臼井 俊明^{1) 2)}、日野 雅予¹⁾、小林 弘明¹⁾

O2-2 長時間透析におけるカルニチン補充療法を考える

所属：医療法人社団腎愛会 だてクリニック（北海道）²⁾ 栄養科¹⁾

演者：大里 寿江（オオサト トシエ、栄養士）¹⁾、村椿 千晶¹⁾、伊達 敏行²⁾

O2-3 高齢者に長時間透析は有用か

所属：医療法人社団 あずま腎クリニック（千葉県）

演者：東 昌広（アズマ マサヒロ、医師）、後藤 雅宏

O2-4 長時間透析の導入を通して見えてきた透析医療におけるサイコネフロロジー的課題と気づき

所属：医療法人社団腎愛会 だてクリニック（北海道）

演者：伊達 敏行（イダテ トシキ、医師）

O2-5 長時間血液透析は良好な栄養状態とQOL改善に関連する

所属：東京透析フロンティア池袋駅北口クリニック（東京都） 腎臓内科¹⁾ 臨床工学部²⁾ 看護部³⁾

東京女子医科大学 血液浄化療法科⁴⁾

東京女子医科大学 第四内科⁵⁾

演者：原 正樹（ハラ マサキ、医師）¹⁾、佐藤 大樹²⁾、中釜 祥吾²⁾、高橋 稔²⁾、矢部 竜也³⁾、原田 聡子³⁾、川畑 勝³⁾、野老山 武士¹⁾、土谷 健¹⁾、新田 孝作⁵⁾

O2-6 血液透析患者の睡眠障害に関する実態調査と身体活動量との関連について

所属：医療法人 百武医院（福岡県）

演者：正野 武文（ショウノ タケミ、医師）、川畑 芳次、浦田 貴行、高原 良、藤木 駿、春永 英仁、百武 宏幸

O2-7 オーバーナイト透析移行前後での疲労感についての比較

所属：社会医療法人愛仁会 井上病院（大阪府）¹⁾

大阪市立大学 大学院医学研究科 血管病態制御学²⁾

大阪市立大学 大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学³⁾

演者：辻本 吉広（ツジモト ヨシヒロ、医師）¹⁾、佐藤 祐子¹⁾、中川 孝¹⁾、西原 伸美¹⁾、森本 章¹⁾、庄司 哲雄²⁾、絵本 正憲³⁾、西澤 良記³⁾、稲葉 雅章³⁾

10:10 県民公開講座

座長：吉川 裕之先生（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター病院長）

演題：患者体験談 ～長時間透析又は頻回透析を経験して～

演者：透析患者様3名

10:55 医師シンポジウム【MD-1～3】

座長：千葉 尚市（医療法人社団腎友会 岩見沢クリニック 医師）

小林 弘明（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 医師）

MD-1 「長時間透析＋自由食＋低血流量」を受けた高齢透析患者の現状

所属：医療法人かもめクリニック かもめ・日立クリニック（茨城県）

演者：金田 史香（カナタ フミカ、医師）

MD-2 後期高齢透析患者～当院の現状と将来

所属：医療法人幸善会 前田病院（佐賀県）

演者：前田 利朗（マエダ トシロウ、医師）、熊川 智恵子、梅田 朱美

MD-3 高齢者にも長時間透析が必要か？

所属：医療法人社団 坂井瑠実クリニック（兵庫県）

演者：坂井 瑠実（サカイ ルミ、医師）

2階 大ホール

12:10 ランチョンセミナー

座長：大場 正二（大場内科クリニック理事長）

演題：長時間透析とCKD-MBD（仮）

所属：自治医科大学内科学講座腎臓内科学部門教授

演者：齋藤 修

13:20 長時間透析研究会 総会

13:50 アフタヌーンセミナー

座長：小林 弘明（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター透析センター長）

演題：長時間透析と運動管理

所属：兵庫医療大学リハビリテーション学部理学療法学科講師

演者：松沢 良太

14:50 一般口演3【O3-1～6】

座長：新井 京音（医療法人 かもめクリニック 臨床工学技士）

渡部 卓也（医療法人 小山すぎの木クリニック 臨床工学技士）

O3-1 長時間透析を妨げている要因に関する実態調査

所属：特定医療法人財団松園会 東葛クリニック病院（千葉県）

演者：内田 真季子（ウチガマキョ、臨床工学技士）、江戸 千種、佐々木 亮太、二階堂 春奈、稲田 陽司、市橋 弘章、東 仲宣、小田 清一

O3-2 超高齢者を導入し「長時間透析＋自由食＋低血流」治療法を施行した1症例

所属：医療法人 かもめクリニック（福島県） 臨床工学部¹⁾ 内科⁴⁾

かもめ・みなとみらいクリニック 臨床工学部²⁾

かもめ日立クリニック 内科⁵⁾ かもめクリニック 長時間透析研究所⁶⁾

名古屋大学 腎臓内科³⁾

演者：上遠野 真人（カトノマサヒト、臨床工学技士¹⁾、上石 等¹⁾、新井 京音²⁾、岡崎 雅樹³⁾、大和田 一範⁴⁾、金田 史香⁵⁾、金田 浩⁶⁾

O3-3 週1回オーバーナイト透析から、週3回オーバーナイト透析へ移行した現況

所属：大雄山セントラルクリニック（神奈川県） 臨床工学科¹⁾ 腎臓内科²⁾

演者：高田 友人（カダトモト、臨床工学技士¹⁾、土田 晋也¹⁾、當眞 嗣洋¹⁾、小宮 智幸¹⁾、前島 潔²⁾、及川 功²⁾、藤本 博行²⁾

O3-4 長時間透析患者における体組成計を用いた体型の検討

所属：医療法人社団 あずま腎クリニック（千葉県）

演者：宮本 亮平（ミヤモトリョウヘイ、臨床工学技士）、横山 雅伸、杉 英明、高橋 真理子、後藤 雅宏、東 昌広

O3-5 長時間透析による心臓への影響

所属：医療社団法人菅沼会 腎内科クリニック世田谷（東京都） 臨床工学部¹⁾ 人工透析内科²⁾

演者：竹石 康広（タケイシヤスヒロ、臨床工学技士¹⁾、種山 嗣高¹⁾、西澤 喬光¹⁾、斎藤 祐太¹⁾、正木 一郎¹⁾、菅沼 信也²⁾

O3-6 オーバーナイト透析患者に対する栄養相談と臨床検査値の変化

所属：茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター（茨城県） 医療局医療技術部栄養管理科¹⁾

医療局栄養サポート室²⁾ 透析センター³⁾

演者：前田 昭子（マエダアキコ、栄養士¹⁾、高橋 由美子¹⁾、小林 由佳¹⁾、黒澤 李奈¹⁾、窪田 理恵¹⁾、永井 加奈¹⁾、立原 文代¹⁾、春木 孝子¹⁾、中林 幹雄²⁾、小林 弘明³⁾

15:50 閉会挨拶

10:30 ポスター発表【P-1～5】

座長：入谷 麻祐子（医療法人援腎会 すずきクリニック、臨床工学技士）

P-1 オーバーナイト透析患者の不感蒸泄について

所属：医療法人 小山すぎの木クリニック（栃木県）¹⁾

自治医科大学附属病院 腎臓内科²⁾

演者：渡部 卓也（ワタベ タカヤ、臨床工学技士）¹⁾、大島 祐太¹⁾、一杉 智子¹⁾、知久 大輝¹⁾、
三上 卓耶¹⁾、和泉 裕太¹⁾、三木 拓哉¹⁾、朝倉 伸司¹⁾、齋藤 修²⁾

P-2 長時間透析実施10年を超えて

所属：医療法人 ひがしだクリニック（福岡県）

演者：深水 大尊（フカミズ ヒロタカ、臨床工学技士）、井上 聖人、松山 玲子、野本 摩利、松尾 賢三

P-3 地方中核都市におけるオーバーナイト透析のあり方

所属：医療法人 小山すぎの木クリニック（栃木県）¹⁾

自治医科大学附属病院 腎臓内科²⁾

演者：大川 貴将（オホカキ タカサ、臨床工学技士）¹⁾、渡部 卓也¹⁾、三上 卓耶¹⁾、福田 凌¹⁾、大島 祐太¹⁾、
三木 拓哉¹⁾、朝倉 真希¹⁾、朝倉 伸司¹⁾、齋藤 修²⁾

P-4 長時間透析移行前後の身体状況、血液検査等の比較

所属：東葛クリニック病院 臨床工学部（千葉県）

演者：佐々木 亮太（ササキ リョウタ、臨床工学技士）、江戸 千種、内田 真季子、二階堂 春奈、稲田 陽司、
市橋 弘章、東 仲宣、小田 清一

P-5 InBodyでみたフルタイム就業のオーバーナイト透析患者の特徴

所属：医療法人 小山すぎの木クリニック（栃木県）¹⁾

自治医科大学附属病院 腎臓内科²⁾

演者：青木 駿（アオキ シュン、臨床工学技士）¹⁾、大平 優樹¹⁾、三上 卓耶¹⁾、和泉 裕太¹⁾、飯島 瑞基¹⁾、
福田 凌¹⁾、渡部 卓也¹⁾、大島 祐太¹⁾、朝倉 伸司¹⁾、齋藤 修²⁾

共催セミナー・運動療法実技・県民公開講座のご案内

イブニングセミナー

日 時：10月12日（土） 17：25～18：25 講演会場 2階大ホール
座 長：山縣 邦弘（筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学教授）
共 催：中外製薬株式会社
備 考：医療従事者対象
IS-1 透析運動療法：貧血とQOLへの効果
安藤 康宏（国際医療福祉大学病院予防医学センター副センター長）

運動療法実技

日 時：10月12日（土） 18：30～19：20 実技会場 2階大ホール
備 考：参加自由
UZ-1 透析患者の運動
Hiromi（鈴木裕美：メディカルヨガインストラクター）

県民公開講座

日 時：10月13日（日） 10：10～10：50 講演会場 2階大ホール
座 長：吉川 裕之（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター病院長）
備 考：参加自由
KK-1 患者体験談～長時間透析又は頻回透析を経験して～
透析患者様3名

ランチョンセミナー（サテライトシンポジウム）

日 時：10月13日（日） 12：10～13：10 講演会場 2階大ホール
座 長：大場 正二（医療法人青藍会大場内科クリニック理事長）
共 催：協和キリン株式会社・株式会社カネカメディックス・扶桑薬品工業株式会社
備 考：医療従事者対象
LS-1 長時間透析とCKD-MBD
齋藤 修（自治医科大学内科学講座腎臓内科学部門教授）

アフタヌーンセミナー（サテライトシンポジウム）

日 時：10月13日（日） 13：50～14：50 講演会場 2階大ホール
座 長：小林 弘明（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター透析センター長）
共 催：キッセイ薬品工業株式会社
備 考：医療従事者対象
AS-1 長時間透析と運動管理
松沢 良太（兵庫医療大学リハビリテーション学部理学療法学科講師）

長時間透析研究会

会 則

2019年4月15日

第1章 総則

第1条 本会は、長時間透析研究会（Japanese Society for Long Hemodialysis Therapy = JSLHT）と称する。

第2条 本会は、事務局を佐賀県伊万里市立花町 2742-1 医療法人幸善会 前田病院内に置く。

第2章 目的

第3条 本会は、透析時間と頻度というファクターに着眼して、慢性維持血液透析患者が限りなく健常者に近いQOL、合併症の予防及び生命予後の改善を達成することを目的とする。

第2条 本会は、事務局を佐賀県伊万里市立花町 2742-1 医療法人幸善会 前田病院内に置く。

第3章 事業

第4条 本会は前条の目的を推進するために次の事業を行う。

1. 年1回の研究集会開催
2. 学術雑誌、名簿等刊行物の発行
3. 内外の関係機関、学術団体、患者会との連絡および交流
4. その他本会の目的を推進するために必要な事業

第4章 会員

第5条 本会は、以下の会員により構成される。

1. 個人会員：本会の目的に賛同し、活動に協力する個人
2. 施設会員：本会の目的に賛同し、活動に協力する施設
3. 賛助会員：本会の目的に賛同し、資金面での援助を行う個人または組織、団体

第6条 会員はそれぞれ所定の会費を納入しなければならない。

1. 個人会員の会費は年額 2,000 円とする
2. 施設会員の会費は年額 10,000 円とする

第7条 退会を希望するものは、所定の退会届に記入の上、事務局に提出する。

第5章 役員

第8条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 1名
2. 幹事 若干名
3. 監事 若干名

第9条 会長は本会を代表し、会務を統括する。会長は幹事会で選任され、総会の承認を受ける。

第10条 幹事は幹事会を組織し、総会の権限に属する事項以外のすべての本会の会務を審議決定し、執行する。幹事は、幹事会で選任され、総会の承認を受ける。

第11条 幹事会の議長は当番幹事が行う。

第12条 監事は、幹事会の推薦に基づき、会長が決定し、総会の承認を受ける。監事は、本会の業務及び経理を監査する。

第13条 役員の任期は3年とし、再任を妨げない。

第14条 本会に顧問をおくことができる。顧問は、本会の運営や事業の推進にあたり、会長、幹事会に必要に応じて援助、指導をする。

第6章 研究集会および幹事会、総会

第15条 研究集会、総会のため、当番幹事をおく。

第16条 研究集会および幹事会、総会は原則として年1回開催するものとする。

第7章 会 計

第17条 本会の経費は、会員からの会費ならびに寄付等をもってこれにあてる。

1. 財団法人日本腎臓財団に納めた助成金を通常の寄付とする
2. その他、希望があれば共催（金）を認める
3. その他、希望があれば広告協賛（金）を認める

第18条 本会の会計年度は、毎年1月1日より、同年12月31日までとする。

第8章 会則の変更および本会の解散

第19条 本会会則は幹事会において3分の2以上の賛同を得、総会の承認がなければ変更できない。

- 第20条
1. 本会の解散は、幹事会において4分の3以上の賛同を得、総会の承認を得なければならない。
 2. 本会の解散にともなう資産は、幹事会の決議と総会の承認を得て、本会と類似の目的を有する公益事業に寄付するものとする。

第9章 補 則

第21条 本会の施行についての細則は、幹事会の決議を得て、別に定める。

細則 1. 本会における長時間透析とは、週18時間以上（週3回であれば1回6時間以上、隔日では1回5時間以上）をいう。

細則 2. 施設会員の責任者は個人会員として登録され、その個人年会費は免除されるものとする。また、同一法人の運営する施設が複数ある場合、各施設毎に会員登録を行うものとする。

細則 3. 運営規定

I. 当番幹事（世話人）は、長時間透析研究会前日の午後に幹事会（世話人会）を開催する。

① 当番幹事（世話人）は、幹事会（世話人会）の議長を行う。

② 当番幹事（世話人）は、次々回の当番幹事（世話人）の推薦をする。

II. 情報交換会（懇親会）を行う。（会費は個人負担として領収書を発行する）

III. 幹事会（世話人会）での決議事項は、長時間透析研究会総会の場にて報告する。

IV. 前回の当番幹事（世話人）は、総会の場にて会計報告を行う。

細則 4. 学術集会における発表

個人会員および施設会員の施設に所属する者は、本会が開催する学術集会において研究発表を行うことができる。但し、特別講演、教育講演など大会長の委嘱により講演を行う場合は、その会員資格を問わない。

本会則は2008年11月30日から有効とする。

本会則は2010年12月5日より一部改訂する。

本会則は2017年11月27日より一部改訂する。

本会則は2019年4月15日より一部改訂する。

謝辞

第15回長時間透析研究会を開催するにあたり、ご協賛いただきまして、誠にありがとうございます。
協賛企業の皆様に厚く御礼申し上げます。

協賛企業一覧

【展示出展】

- ・アイティーシー株式会社
- ・協和キリン株式会社
- ・日機装株式会社
- ・ニプロ株式会社
- ・扶桑薬品工業株式会社
- ・メディキット株式会社

【共催セミナー】

- ・株式会社カネカメディックス
- ・キッセイ薬品工業株式会社
- ・協和キリン株式会社
- ・中外製薬株式会社
- ・扶桑薬品工業株式会社

【寄 附】

- ・アイティーシー株式会社
- ・株式会社 アステック
- ・グランメイト株式会社
- ・東レ・メディカル株式会社
- ・株式会社 日成メディカル
- ・株式会社 ビー・エム・エル
- ・株式会社ムサシエンジニアリング

【広告掲載】

- ・旭化成メディカル株式会社
- ・アステラス製薬株式会社
- ・(株) アワジテック
- ・株式会社 LSI メディエンス
- ・大塚製薬株式会社
- ・キッセイ薬品工業株式会社
- ・協和キリン株式会社
- ・柴田科学株式会社
- ・帝人ファーマ株式会社
- ・東亜ディーケーケー 株式会社
- ・東レ・メディカル株式会社
- ・株式会社ドリームインポケット
- ・ニプロ株式会社
- ・バイエル薬品株式会社
- ・ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社
- ・持田製薬株式会社

(50音順／2019年10月1日現在)